

## 金融仲介機能

### ◆ 金融仲介機能とは何か

金融仲介機能とは、金融機関が借り手と貸し手の仲介を行うことです。

金融仲介機能には、(1) 情報生産機能、(2) リスク負担機能、(3) 資産変換機能 という3つの働きがあります。

### ◆ (1) 情報生産機能

情報生産機能とは、借り手に関する情報を生み出す働きのことです。

金融機関は、企業の決済口座の動きから、取引の信用状態を伺い知ることができます。

また、信用力を利用して、業界の情報を収集・分析することで、金融取引に有益な情報が得られます。

この情報には、取引コストを低減させる働きがあります。

※取引コストとは、取引に伴う費用のことで、情報収集費や危険負担費などがあります。

## 情報の非対称性

情報の非対称性とは、取引の参加者の間で、取引相手の情報が得られないことによる情報の偏りのことです。

金融機関を利用せず個人でお金の貸借取引をする時、貸し手は借り手に関する情報が得られないという問題が生じます。

「お金を借りたい」、「お金を貸したい」と考える人が取引相手を見つけることは簡単ではありません。個人では、そうした情報を得ることができないからです。

また、お金の貸し手には、相手(借り手)の信用度に関する情報もありません。貸したお金をきちんと返してもらえるかどうか、よくわからない相手との取引は不安です。

このように、借り手の情報と貸し手の情報がどちらも不十分で、情報が偏在すると、金融取引の障害となります。この問題を解消する役割を果たしているのが金融機関です。

きんゆうちゅうかいきのう  
金融仲介機能

◆ (2) リスク負担機能

ふたんきのう  
リスク負担機能とは、借り手が債務を返さないというリスク  
きんゆうきかん お  
を金融機関が負うことをいいます。

こじんかん か か  
\* 個人間の貸し借り → リスクは貸し手が負う

こじんかん か か か て かね かせ  
個人間の貸し借りでは、借り手がお金を返さないという  
リスクは貸し手が負います。

きんゆうきかん ちゅうかい  
\* 金融機関が仲介 → リスクは金融機関が負う

きんゆうきかん か て か て ちゅうかい おこな か  
金融機関が借り手と貸し手の仲介を行うことで、貸し  
手にかわって金融機関がリスクを負担します。

かね うんよう かんが こじん ぎんこう よきん かたち  
お金を運用したいと考える個人は、銀行に預金という形  
かね か あんぜん うんよう  
でお金を貸すことで、安全に運用することができます。

ぎんこう か て よきんしゃ ていげん やくわり は  
銀行は、貸し手（預金者）のリスクを低減する役割を果た  
しています。

きんゆうちゅうかいきのう  
金融仲介機能とは？

きんゆうきかん  
金融機関が  
か て か て ちゅうかい  
借り手と貸し手の仲介  
おこな  
を行う

じょうほうせいさんきのう  
情報生産機能

か て じょうほう しゅうしゅう  
借り手の情報を収集

きんゆうきかん ほうふ じょうほう あつ  
金融機関には、豊富な情報が集まる

ふたんきのう  
リスク負担機能

か て さいむ かせ お  
借り手が債務を返さないリスクを負う

しさんへんかんきのう  
資産変換機能

ほんげんてきしょうけん かんせつしょうけん へんかん  
本源的証券を間接証券に変換し、  
たいりょう しきん ちょうたつ ゆうずう おこな  
大量の資金の調達と融通を行う

きんゆうちゅうかいきのう  
金融仲介機能

しさんへんかんきのう  
◆ (3) 資産変換機能

しさんへんかんきのう  
資産変換機能とは、本源的証券を間接証券に変換して、  
たいりょう しきん ちょうたつ ゆうずう おこな  
大量の資金の調達と融通を行うことをいいます。

ぎんこう よきんしゃ かんせつしょうけん よきんしょうしょ はっこう  
銀行は、預金者へ間接証券（預金証書など）を発行して、  
こじん たいりょう しきん あつ ほんげんてきしょうけん きぎょう はっこう  
個人から大量の資金を集め、本源的証券（企業が発行す  
かりいれしょうしょ ひきか かしつけ おこな  
る借入証書など）と引換えに貸付を行っています。

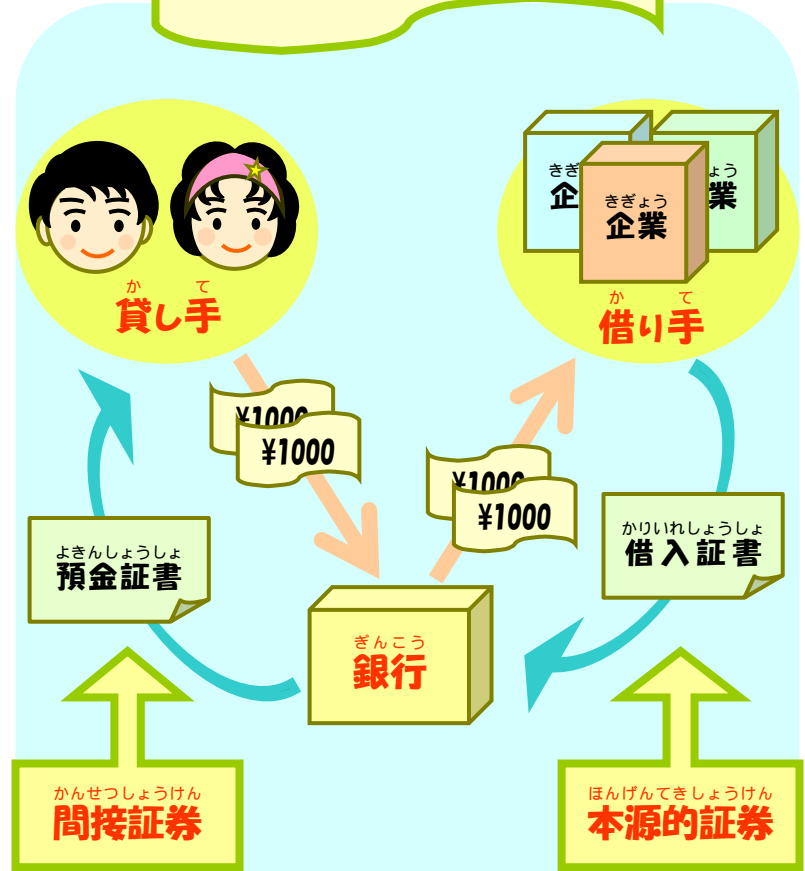
しさんへんかんきのう ぎんこう あつ よきん か  
資産変換機能により、銀行は集めた預金を1つにまとめて貸  
つ かて が きかん かね か  
し付けることができ、借り手は借りたい期間だけお金を借りる  
ことができます。

ほんげんてきしょうけん かんせつしょうけん  
- 本源的証券と間接証券 -

ほんげんてきしょうけん きぎょう かね か はっこう  
本源的証券とは、企業がお金を借りるために発行す  
てがた かりいれしょうしょ  
る、手形や借入証書のことです。

かんせつしょうけん きんゆうきかん はっこう よきんしょうしょ  
間接証券とは、金融機関が発行する、預金証書や  
ほけんしょうしょ  
保険証書のことです。

きんゆうちゅうかいきのう  
- 金融仲介機能 -  
しさんへんかんきのう  
資産変換機能



ようご  
用語

金融仲介機能

Financial intermediation function

借り手と貸し手を仲介する

借り手に関する情報を生み出す

情報生産機能

Information production function

借り手が債務を返さないリスクを負う

リスク負担機能 (Functions on risk taking)

本源的証券を間接証券に変換し、大量の資金の

調達と融通を行う

資産変換機能 (Asset transformation function)

もんだい  
チェック問題

(1) 金融仲介機能には、情報生産機能、( )、資産変換機能という3つの働きがあります。

(答え) リスク負担機能

(2) 金融機関が借り手に関する情報を生み出すという金融仲介機能のことを( )といいます。

(答え) 情報生産機能

(3) リスクを金融機関が負うという金融仲介機能のことを( )といいます。

(答え) リスク負担機能

(4) 本源的証券を間接証券に変換して、大量の資金の調達と融通を行うという金融仲介機能のことを( )といいます。

(答え) 資産変換機能

索引へ戻る